

高知くらしの護身術

362

SNS

広告など信用性検討を

(2015年7月14日掲載原稿)

SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）が、消費者トラブルのきっかけになるケースが増えています。

① SNSの広告でダイエットサプリメントのお試し品が送料300円のみ負担で試せることを知り、クレジットカード決済で注文したら、「定期購入」になっていた。

② SNSサイトで知った無料メールマガジンに登録したら、インターネット副業を勧めるメールが届くようになった。「月100万円稼ぐなんて楽勝」というサイドビジネスを29万円支払って始めたが、全くもうからない。

【注意点】「大手SNSに表示される広告だから大丈夫だろう」「大手SNSで紹介されるメルマガだから安心だ」といった思い込みは危険です。広告やメルマガの信用性はよく検討しましょう。

③ SNSで知り合った相手と携帯電話でメールをしていたら「携帯電話が壊れ、メールができない。他のSNSでメールをしよう」と誘われ、出会い系サイトに登録してしまった。

【注意点】SNSに限らず、インターネット上では匿名でのやり取りが可能です。やり取りをしている相手のSNS上のプロフィール情報が本物である保証もありません。相手を書き込んだ情報や話の内容を、すべてうのみにしないようにしましょう。

④ 友人からの連絡で、何者かが私のSNSのアカウントを乗っ取り、私になりすまして仲間にお金を借りようとしていることが分かった。

【注意点】アカウントを乗っ取られないためには、第三者に推測されにくいパスワードを設定し、複数のサービスに同じパスワードを使い回さないことが基本です。安全のため、時々パスワードを変更しましょう。